

松代及び松之山地区における住民説明会当日の主な質疑等について

当日の主たる質問・要望等	回答
1 入院機能の存続 ・松代病院は入退院に関してケアマネージャーと相談して退院後の生活を手厚く見守ってくれているなど、地域に根差した病院として地域に必要なもの。無床診療所化の方針を撤回し、入院機能を持つ県立松代病院として存続してもらいたい。	・松代病院の入院患者の多くは複数の慢性疾患を有する高齢者であり、総合的な医療ケアが必要なことから、医療スタッフが充実した十日町病院に入院機能を集約することが、持続可能で質の高い医療につながるものと考えている。 ・医療資源の少ない地域において地域医療を維持していくために、外来機能を残した上で、入院機能を十日町病院に集約するが、患者の退院後のケア等を地域の介護施設等につなぐ機能は維持していきたい。
・令和6年3月に作成された新潟県立病院経営強化プランでは、松代病院は地域包括ケアを支える回復期病院としての役割を果たすとされていたにもかかわらず、1年程度で方針を変更したのはなぜか。	・新潟県立病院経営強化プランを作成時には、これだけ厳しい経営状況の変化を把握できていなかった。
2 県立県営 ・診療所となっても長年続けていくこと、赤字だからといって、すぐに止めるということがないようにしてほしい。運営を十日町市に移譲することは有り得るのか。	・無床診療所化するが、引き続き県立で診療所を運営し、地域の医療を維持していきたい。 ・診療所化により赤字は削減できるが、赤字でも県立として運営するというのが今の方針であり、移譲に関して十日町市とは話していない。
3 診療所化後の機能 (1) 診療科 ・診療所化した後の人員体制や、病院と診療所との機能の違いについて、具体的に示してほしい。	・診療所化により、入院機能は十日町病院に集約することになる。 ・そのほかは、外来機能は現状の外来診療科（外来リハビリ含む）を基本的に維持するとともに、訪問診療・訪問看護も維持する方針である。 ・9月に予定している次の住民説明会で具体的な人員体制や診療所の機能をお示しする。
(2) 訪問診療等 ・十日町病院に機能を集約した場合、これまで行ってきた往診（訪問診療・訪問看護）等はどうなるのか。	・訪問診療・訪問看護については、現状の体制を維持する。今後、交通に不便を抱える方も増えるであろうことから、現時点では具体的に明言できないが、医療需要に応じた在宅医療の機能強化を考えている。
(3) 救急体制・夜間休日対応 ・休日のイベントや夜間等を踏まえると、十分な救急体制が必要である。 ・無床診療所となった後、休日や夜間はどのように対応するのか。	・現在松代病院では夜間・休日において救急患者を受け入れているとともに、電話での相談・問い合わせも受けている。 ・現状でも夜間や休日の救急患者の多くは十日町病院において受け入れているが、松代病院を無床診療所化した後の対応については現在検討中である。 ・具体的な対応については、9月に予定している次の住民説明会でお示しする。
(4) 検査 ・無床診療所化した場合、現在松代病院で行っている検査体制はどうなるのか。	・全ての検査を十日町病院へ集約するとは考えていないが、検査結果が翌日以降になるような検査や、頻度の少ない検査については、十日町病院へ集約することも含めて検討中である。
(5) 介護との連携等 ・松代病院は、地域の介護施設と良好な連携・協力関係を築いている。無床診療所化した場合、介護施設との関係はどうなるのか。	・無床診療所化した後であっても、介護施設等との連携・協力関係を維持できるように対応を検討している。
4 交通アクセス ・松代・松之山地域から十日町病院への交通アクセスは、バスの本数なども限られ不便である。	・地域交通政策を担う地元十日町市と相談、協議していく。